



百年将来を見据えた人類社会の枢要に資する大学の役割

令和5年度における活動実績・成果の概要

“持続可能で心豊かな未来社会”の実現に近づくため、**大学教育を深化**させ、**自律的に思考する人**を増やすための教科書を出版し講義で用いる(次ページに企画の理念)。そこで教科書企画内容に関して、以下のように討論会を開催した。1回2～2.5時間、出席者:学内教職員・学生約30-50名、WEBに記録整理。

日時	部と章	原稿の見出し	執筆者(講演会での発表者)	議事録ページ数
11月21日(火) 13:00～15:30	序部-2章	G0大学の意義	金井 浩	A4版33ページ
	2部-1章	新自由主義を超えて	細谷雄三	
	3部-5章	イノベーション教育	秋田次郎	
11月29日(水) 13:00～15:30	序部-3章	大学教育の意義を学生が理解するために	服部徹太郎	A4版32ページ
	1部-5章	教養教育	山内保典	
	2部-5章	B2個別化医療	藤森研司	
12月11日(月) 13:00～15:30	3部-1章	C3感染症超克	押谷 仁	A4版27ページ
	1部-1章	A0環境価値	吉岡敏明・齋藤優子	
	2部-4章	E2少子化・高齢化	吉田 浩	
	3部-3章	D5ものづくり復活	佐々木保正・森谷祐一	
12月25日(月) 13:00～15:30	3部-4章	アントレプレナー教育	長坂徹也	A4版20ページ
	1部-3章	E4食農教育	伊藤房雄	
	2部-6章	D4幼小期からの教育	堀田龍也・長濱登	
1月11日(木) 10:00～12:00	2部-8章	課外活動の意義	永富良一	A4版26ページ
	1部-2章	里山からの心豊かな地方創生	小倉振一郎	
	1部-4章	D1日本学	尾崎彰宏	
1月31日(水) 10:00～12:00	2部-2章	G4格差	佐藤嘉倫	A4版25ページ
	2部-3章	C2創未来インフラ	久田 真・鎌田 頁	
	序部-1章	倫理観と使命感	座小田 豊	
	2部-7章	デザイナーシップ教育	本江正茂	
	3部-2章	C4放射線安全	新堀雄一	



百年将来を見据えた人類社会の枢要に資する大学の役割

教科書「これからの日本を考えるための20の論点(仮)」出版の理念

本書の趣旨

戦後日本の大学教育で重視されてきた「専門知」の修得は、高度経済成長期にはその目的を曖昧なままにしても、確かに効率的に有効に機能した。

しかし、欧米にキャッチアップした後、現在に至る日本の停滞状況は、1991年以降、後に続く国々の高等教育の普及に伴って日本の立場が低下し続けてきたこと、教養教育を疎かにしてきたことに無関係とは言えない。それが緩やかな変化であるため認識されにくいのが、現在の教養教育に関する扱いは、十分ではないだろう。

学生は、人文社会・理工系を問わず、いずれかの「専門知」を修得する他に、その専門性を活かすため、「社会課題の解決」「持続可能で心豊かな社会の創造」「善く生きること」など「総合知」の重要性を理解する「賢明な人」を目指すことが望ましい。

そこで本書では、次ページの図の中心部9テーマの他に、環状に掲げる14の各テーマが、

①各々の「**専門知による社会課題の解決**」の限界、

に加え、「社会の役に立ちたい」と願っている多くの学生が

①**社会課題の“掘り起こし”能力(can)**:「自分も参画できる」感覚、

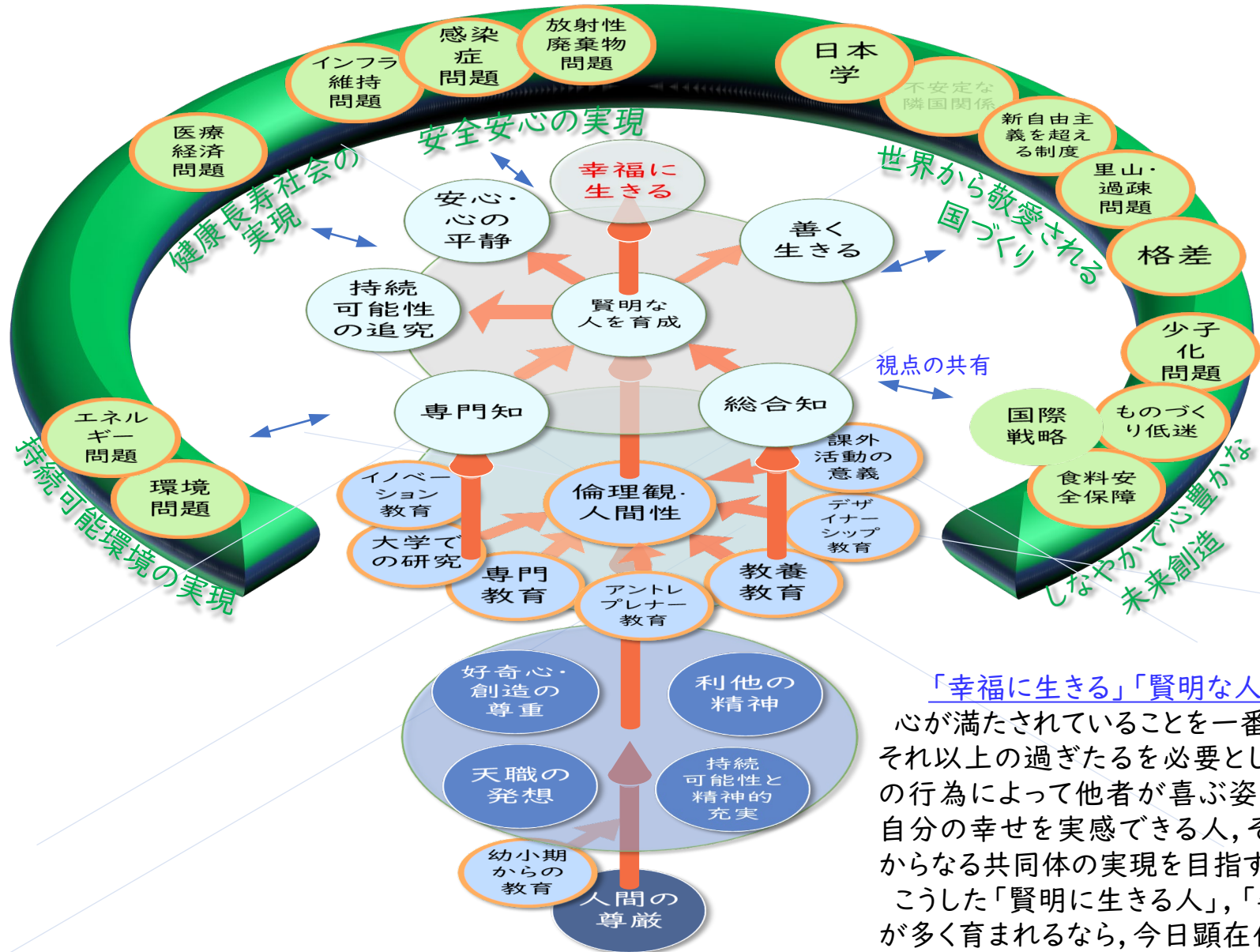
②**社会のあるべき姿・理念(must)**:「進むべき方向性・目標」、

③**人間形成(意思will)**:「自分自身がどう変わりたいか」、

を自ら考える参考となる内容を紹介する。

これらにより、様々な社会課題に「**共通する構造**」(例えば、「幸福の理念」)を具体化でき、「**解決の方法論**」を見出す可能性も期待できる。

教科書「これからの日本を考えるための20の論点(仮)」出版の理念



「幸福に生きる」「賢明な人」の説明:

心が満たされていることを一番の幸福と考え、それ以上の過ぎたるを必要としない人、自分の行為によって他者が喜ぶ姿を見て純粋に自分の幸せを実感できる人、そうした人たちからなる共同体の実現を目指す。

こうした「賢明に生きる人」、「善く生きる人」が多く育まれるなら、今日顕在化してきている社会課題の多くは解決するであろう。